

さくらほっと NEWS

vol.36
平成28年夏号

乳がん治療・乳房再建センター

形成外科



鳥山副センター長

乳腺外科



遠山センター長

化学療法部



小松副センター長

麻酔科
ペインクリニック



杉浦副センター長

こころの医療センター
緩和ケア部



内田副センター長



アイセンター(眼科)

前列左から吉田副部長(病院教授)、小椋部長(教授)
後列左から安川医師(准教授)、野崎医師(講師)、平野医師(講師)

進化し続ける診療体制

『乳がん治療・乳房再建センター』
『アイセンター(眼科)』を開設 …2

名市大病院のチカラ vol.4 ……3
超音波検査のスペシャリスト『超音波検査士』…4
セミナー・ウェルフェア2016のご案内
ご寄附のお願い(さくら基金)

国の方針に基づき、地域医療連携を推進しています。

国の方針▶医療機関の機能分化

特定機能病院(名古屋市立大学病院)

入院や手術などの専門的な診療・検査を含む高度先進医療を担当

地域の医療機関(かかりつけ医)

風邪などの日常的な病気や症状が安定した慢性疾患などの患者さんに対する医療を担当

地域医療連携の推進

診断が確定し症状が安定した患者さんは地域の医療機関にご紹介しております。

※症状が悪化した場合などは、改めて名古屋市立大学病院へ紹介されます。



進化し続ける診療体制 『乳がん治療・乳房再建センター』『アイセンター(眼科)』を開設

患者さんに対し更なる高度先進医療を提供するため、当院は平成28年4月1日に「乳がん治療・乳房再建センター」と「アイセンター(眼科)」を設置しました。

乳がん治療・乳房再建センター

国内において罹患数が年々増加している乳がんに対し、当該疾患に携わる当院のスペシャリストが連携し、最先端かつ最良の治療を提供するとともに、治療による様々な負担を抱える患者さんに対し積極的にサポートを行う体制を構築するため、乳がん治療・乳房再建センターを設置しました。



遠山センター長
(乳腺外科部長)

各分野のスペシャリストによって 生まれる『相乗効果』

当センターの最大の特長は、複数の分野の医師や医療技術者が部署の垣根を越えて協力し、一丸となって乳がんの診療にあたることです。

「乳がん手術と乳房再建術」については乳腺外科と形成外科が、乳がんの再発に対する不安やがんの進行に伴う疼痛など、治療に関連して起こる心身の苦痛に対してはこころの医療センター、緩和ケア部及び麻酔科(ペインクリニック)が主に担当します。

当センターの設立によって、これまで以上に連携が強化され、患者さんに提供する医療の質がより一層高まります。



各分野のスペシャリストが連携し
患者さんにトータルサポートを提供

アイセンター(眼科)

当院眼科が力を入れている網膜硝子体疾患をはじめ、幅広い眼疾患に対してより高度な医療を提供するため、従来の眼科外来を拡張しアイセンター(眼科)としてリニューアルしました(国公立大学病院として初めて「アイセンター」の名称を用いることとなります)。



小椋部長

Navilas577+ナビゲーションレーザシステム (通称:ナビラス)を大学病院として初めて導入

現在、糖尿病黄斑浮腫や網膜静脈分枝閉塞症による黄斑浮腫に対しては、主に薬物療法が用いられていますが、当院では浮腫の原因となる血管瘤をひとつひとつ丁寧に直接凝固することを重視しています。

今回、当機器を導入することで「毛細血管瘤の直接凝固」がより正確かつ安全に実施できるようになるだけでなく、患者さんの経済的な負担軽減にもつながると思われます。



また、視機能の低下により日常生活や仕事に支障を来している方々を対象としたロービジョン外来を毎週木曜日に実施しています。

当外来では、名古屋市総合リハビリテーションセンターの視覚障害者支援の専門職が来院し、視機能が低下した患者さんへの訓練等についての相談や体験を行うことが大きな特徴です。そのほかにも、ルーペや拡大読書器などを活用して生活の質を向上させる方法について視能訓練士がアドバイスをを行っています。



ご注意いただきたいこと

ロービジョン外来は当院眼科で診療を受けた方が対象であり、ロービジョン外来のみを受診することはできません。受診をご希望の患者さんは、まず眼科の主治医にご相談ください。

名市大病院のチカラ

Vol. 4

脳神経外科

脳動脈瘤に対し最適・最良の治療を提供



脳神経外科
間瀬部長

脳動脈瘤の治療方法には『開頭クリッピング手術』と、『コイル塞栓術(脳血管内治療)』の2つの方法があります。

1つ目の開頭クリッピング手術は、開頭し手術顕微鏡で脳と脳の隙間を切開して、その奥の脳動脈瘤のくびれた部分にクリップをかける手術です。

2つ目のコイル塞栓術(脳血管内治療)は、血管の中からカテーテルを使用して金属製のコイルをつめる治療です。以前は入口が広い形状の脳動脈瘤に対しては行えませんでした。現在ではバルーン(風船)やステント(網目状の金属の筒)を手術支援に用いることで行えるようになってきました。

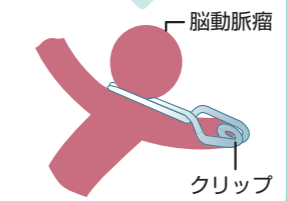
当院では、患者さんの状態を踏まえ、上記2つの中から最適な方法を選択して治療を受けられ

る体制を備えています。医療技術は日進月歩であり、今後も新しい治療法が開発されていくと思われませんが、患者さんに常に最良の治療が提供できるよう、最新の知見を取り入れるとともに技術を磨いてまいります。

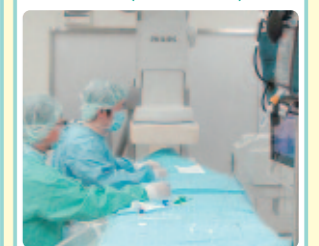
開頭クリッピング手術の様子



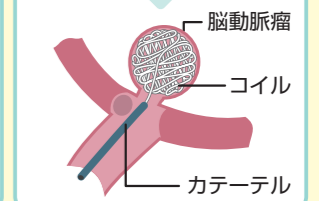
手術顕微鏡を見ながら行います



コイル塞栓術(脳血管内治療)の様子



手や足の血管からカテーテルを入れていきます



分べん成育先端医療センター

新生児医療の草分け的存在として、さまざまな疾患に対応



分べん成育先端医療センター
(新生児部門)
長崎副センター長

当院分べん成育先端医療センターの新生児部門は50年以上の歴史を有し、新生児医療の草分け的存在として診療や研究などの活動をリードしてきました。

NICU(新生児集中治療管理室)を12床、GCU(新生児治療回復室)を15床と、充実した設備を備えているとともに、産科婦人科や外科、泌尿器科などの関係診療科における新生児医療体制が充実している点が当院の大きな特徴です。このような体制で早産児はもとより、さまざまな疾患を持つ新生児に対応しておりますが、他の医療機関に比べ、当院は先天性心疾患を持つ新生児を特に多く受け入れています。

また、昨年4月にはハイリスクの妊婦受け入れや高度な新生児医療を24時間体制で提供で

きる医療機関として認められ、愛知県より「総合周産期母子医療センター」に指定されました。

今後もこの地域における新生児医療をリードする存在として、積極的に患者さんを受け入れていきます。



充実した設備とチーム医療で最適かつ最良の新生児医療を提供します

超音波検査のスペシャリスト『超音波検査士』

中央臨床検査部

「超音波検査(エコー検査)」をご存知でしょうか?超音波を対象に当て、その反射を映像化させるという安全な検査であるため受けたことがある方も多いのではないのでしょうか?今回はその超音波検査のスペシャリスト『超音波検査士』をご紹介します。

超音波検査士とは、臨床検査技師の中で「超音波に関する知識」と「超音波検査画像を正確に読み取る力」を備えていると認められた者に対し、日本超音波医学会から与えられる資格です。

当院には、この超音波検査士が4名在籍しています。これらのスタッフを中心に、医師が正確な診断をするための説得力ある画像や臨床に役立つデータを報告しています。

当院が患者さんに高度先進医療を提供するためには、このような検査のスペシャリストの存在も必要不可欠なのです。



当院に勤務する超音波検査士の1人である塩崎 舞さん
塩崎さんを含む4名の超音波検査士を中心に正確な超音波検査
画像やデータを報告しています

ウェルフェア2016で当院の医師が講演を行います

病院事務課

国際福祉健康産業展(ウェルフェア2016)の中で開催される「ウェルフェア健康大学」において、当院の医師が講演を行います。是非ご参加ください。

日付	時間	会場	診療科	医師名	内容
6月2日(木)	10:30~11:30	ポートメッセなごや (名古屋国際展示場)	整形外科	鈴木 伸幸 助教	高齢者に多い骨の病気 ～骨粗しょう症について～
	13:00~14:00		呼吸器・ アレルギー内科	新実 彰男 教授	アレルギーについて ～たかが咳 されど咳 長引く咳にご用心～
6月3日(金)	15:00~16:00		循環器内科	山下 純世 講師	高血圧管理と健康長寿
6月4日(土)	13:00~14:00		神経内科	松川 則之 教授	もの忘れの多い方のために

※参加申し込み方法などの詳細につきましては、ウェルフェア2016のホームページ(<http://www.nagoya-trade-expo.jp/welfare/index.html>)をご覧ください。

市民公開講座・セミナーのご案内

市民公開講座	
日時	平成28年6月5日(日) 13:30~15:30
場所	大ホール(病棟・中央診療棟3階)
内容	高血圧の管理と健康長寿 循環器内科 講師 山下 純世、助教 村井 俊介
定員	300名(先着順)
担当	名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学

患者情報ライブラリーセミナー	
日時	平成28年6月16日(木) 14:00~14:30
場所	患者情報ライブラリー(病棟・中央診療棟地下1階)
内容	丸わかり「泌尿器がん～泌尿器科における臨床試験～」 泌尿器科 講師 河合 憲康
定員	40名(先着順)
担当	患者情報ライブラリー

次回については当院ホームページでお知らせします。

事前申込不要・費用無料ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

ご寄附のお願い(さくら基金)

病院事務課

当院では「さくら基金」を設置し、寄附のご支援をお願いしています。
皆様から寄せられた寄附金は、診療研究、人材育成、医療環境の充実などに活用させていただきます。
当基金の趣旨をご理解いただくとともに、皆さまのご支援をお願い申し上げます。

問い合わせ先
病院事務課病院経営係
TEL 052-858-7113(直通)
※インターネットもご利用いただけます。